

## 令和3年度 学校評価報告

草加市立青柳中学校  
(令和4年2月1日作成)

<b>1 学校教育目標</b> 自ら考え実践する生徒（知） 心豊かで思いやりのある生徒（特） 健康でたくましい生徒（体）	
<b>2 重点目標・努力目標</b> ○自ら考え実践する生徒を育成する授業改善 ○心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実 ○健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進 ○幼保小中を一貫した教育の研究と実践 ○地域とともにある学校づくり	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ・感染症対策を教職員で協力して行ったことにより、学校全体で共通した行動をとることができた。保護者や生徒の理解を得ることができた。 課題 ・不登校生徒解消に向けて、さわやか相談員、SC、SSW、支援室等関係機関とも協力し、教室復帰に向けて様々な方面からアプローチできるようにする。

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○情報の共有が図れている。 ○会計事務の統一化が図られている。 ●校務分掌において、職歴を均等にした職員配置が必要である。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○教育委員会研究委嘱を受け、多くの教職員が研究授業を行い授業力向上に取り組めた。 ○道徳授業の研究授業を行い、指導助言を頂き大いに役立った。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	B	○保健指導は適切に行われた。 ○新型コロナ対応で青柳中学校のマニュアルを作成し、活用した。 ●毎月の安全点検が実施できたが、素早い修繕が必要である。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○個人情報を徹底的に管理することができた。 ○施設設備の不具合に迅速な対応ができた。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○学校だより・学年だより・学級通信を通して学校の様子を発信できた。 ○学校運営協議会を定期的実施し、地域や保護者との意見交換ができた。 ●学校からのお便りに情報発信の工夫（メール配信等）が必要。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○研究発表を通じて、職員同士小学校の授業を見学したり、中学校の授業を見学したりと、小中の理解や研究が深まった。 ●コロナ禍が終わったら、生徒同士の交流も再開させていきたい。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.5年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<p>○オンライン授業を行い、緊急事態宣言下でも授業の時間を確保し、教育活動を滞りなく進めることができた。</p> <p>●コロナ禍による臨機応変な対応が必要。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<p>○他教科とも連携しながら、評価評定について工夫することができた。</p> <p>○感染症対策を講じながら、授業を進めることができた。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	A	○道徳授業において、教師をローテーションして授業を実施した結果、授業の質を向上させながらも、職員の負担を減らせることができた。
	④特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>生徒会活動</li> </ul>	A	○感染防止に努めながら、体育祭や合唱祭を実施することができた。また、オンラインを利用した生徒会行事を行うことができた。
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<p>○行事に絡めて学習を行えた。</p> <p>●感染症を考慮すると、生徒同士の連携した学習が減ってしまった。</p>
	⑥生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、生徒理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<p>○学級だけでなく、学校全体の問題として情報共有することができた。</p> <p>●不登校解消に向けての取り組みの強化が必要である。</p>
	⑦キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的なキャリア教育</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>進路情報の収集・活用</li> <li>職場体験活動</li> </ul>	B	<p>○コロナ禍であるが、3学年の面接講座や2学年の卒業生の話を聞く会を実施することができた</p> <p>●1学年の社会体験活動が中止になったことによるキャリア教育の学習の工夫。</p>
	⑧特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<p>○特別支援学級の生徒が交流学級に入ったり、行事に参加したりすることができていた。</p> <p>○通常学級で支援が必要な生徒に対し、特別支援学級の授業に参加することができた。</p>
	⑨学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	A	<p>○図書館の整備がしっかりなされており、図書館だよりや掲示物が充実により、生徒の興味・関心が高まった。</p> <p>○学級文庫や話題の書籍など充実して利用者が増えている。</p>
	⑩情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	A	○ICT機器の活用法の研修を計画的に行った。GIGAスクール端末を積極的に活用することができた。

①人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の策定</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・人権感覚の育成</li> <li>・校内研修の充実</li> </ul>	A	○人権標語の掲示物やピアサポーター活動など、人権感覚育成につながる取り組みが実施できた。
-------	--	---	--

(様式2・中学校用③)

草加市立青柳中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣化</li> <li>・家庭学習ノートの活用</li> <li>・授業規律の徹底</li> <li>・思考力、判断力、表現力を育成する言語活動の充実</li> <li>・一人一回の研究授業の実施</li> <li>・1時間毎の授業改善</li> </ul>	B	<p>○県学力調査結果を分析・共有することを進め、各学年の課題を職員全員で共有し、授業改善に活かすことができた。</p> <p>○授業規律を定着させ、落ち着いた授業が実施できている。</p> <p>●家庭学習ノートの取り組みが学年ごと異なり、学校全体として共通化が必要である。</p>
	生徒による自治的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動の活性化</li> <li>・活発な部活動</li> <li>・道徳教育の推進</li> <li>・いじめ撲滅への取組</li> <li>・居場所作りの支援</li> <li>・研修体制の確立</li> </ul>	B	<p>○新規の活動として、ピアサポーターを募り、主体的に自治活動を行う場面が増えた。</p> <p>○委員会活動の進行を生徒に任せることにより、委員長らの責任感が増した。</p> <p>●来年度も感染症対策を行いながら、活動となることを踏まえ、学校として生徒が主体となり、学校全体で一体感のある内容を模索する。</p>

<p><b>5 総合評価</b> (学校関係者評価を含む)</p> <p>○研究委嘱を通じて、学力向上のための授業改善に全職員で取り組むことができた。また、道徳の研究授業では外部講師から貴重なご指導を頂き、大変参考になった。</p> <p>○新型コロナウイルス対策に養護教諭を中心として全職員で対応することができた。</p> <p>○GIGAスクール端末を活用し、緊急事態宣言下でも同時双方向型のオンライン授業を行い、教育活動を滞りなく進めることができた。また、デジタル教科書を積極的に活用するなど、職員の創意工夫を凝らし、教育のデジタル化を推し進めることができた。校内研修をさらに進め、タブレットの積極的活用と効果的な活用方法について深めていく。</p>
<p><b>6 次年度の改善策</b></p> <p>●学力向上に向けては、授業改善と同時並行で家庭学習の習慣化が必要である。家庭学習の効果的な取り組みの検討が必要である。</p> <p>●不登校生徒解消に向けて、校内の教育相談体制を強化するとともに、関係機関との連携を深める。教室復帰に向けて様々な方面からアプローチできるようにする。</p> <p>●来年度もコロナ禍が続くことが見込まれる中、学校行事として何が実施できるのか方法も含め検討し、可能な限り平時と同じ状況をつくれるよう最善を尽くす。</p>